

学校自慢

地域に支えられてまっすぐ育つ 子どもたち

館山市立館野小学校長

よしの 吉野
よしあき 芳明



1 はじめに

本校は館山市の東部に広がる平地に位置する創立140年を超える歴史を持つ学校である。地域の特色として、奈良時代には国分寺が置かれ、安房の国の中心として発展した地区である。そのため古墳や条里跡の遺跡等が多く残っている。観光イチゴ園は地域を代表する産業の一つであることなどがあげられる。

平成28年度
は児童155名
8クラスでス
タートした。



2 学校自慢

一番の自慢は全校の児童一人一人である。豊かな自然や後述のような風土、地域の人々に囲まれて育った子どもたちは、ありがたいことに①素直で、明るい。②元気の良い挨拶ができる。③ピュアな心で人・物に優しい児童に育っている。子どもたちが健やかに育つ要因はたくさんあるが、本校独自のもの数点に絞って紹介し、自慢とさせていただきます。

(1)イチゴ栽培をするビニールハウスの存在

5年生次の秋から6年生次の夏前まで総合的な学習の一つとして『イチゴ栽培』を実施している。これは地元イチゴ栽培農家の御好意により、校庭内に本格的なビニールハウス(約75㎡)を設置し、イチゴを育てている。児童の栽培の実際は、10月；ハウス内の下

準備、11月；苗植え・マルチ張り、以後の主な作業；水やり・ランナー取り・ハウスの開閉・受粉等を経て1月から収穫が始まる。収穫したイチゴは、給食時に全校児童が食したり、6年生と1年生・幼稚園児が、イチゴ狩り体験の交流をしている。また、教育委員会や近隣小学校等にお配りしている。

(2)同一校舎内に幼稚園

本校は、小学校の校舎1階部分に幼稚園年少組と年長組の2教室が配置された幼小一体化校舎となっている。児童および園児の昇降口は別々だが職員玄関は1つであり、何かにつけ幼小の関係は深い。そのため幼小の連携がスムーズに取れ、児童の福祉の心の育成にも繋がっている。

(3)学区の自慢

学区民の多くが、江戸時代の農民一揆である万石騒動に代表される強い信頼と固い団結、義を重んずる心を代々受け継いできており、地域としてのまとまりや強い協力体制築いていると感じる。それらの力を学校創設以来、PTA、地区役員、有識者、PTA役員OBの方々より頂いている。

3 おわりに

本校の教育活動が保護者を含む地域に支えられ着実に遂行できていることに感謝するとともにこれからも保護者や地域が誇れる『おらが館野小学校』を全職員で作り上げていく覚悟である。